

教員・職員の皆様へ

## 吉備国際大学ワークシェアリング就労支援プロジェクト

このプロジェクトでは、地域の精神障害のある皆さんの仕事を支援します

## 当事者の声

### ワークシェアリング利用のメリット

「生活にリズムができて、気持ちの安定につながります」  
「仕事をすることで、よく寝られるようになりました」  
「満足感や達成感があります」  
「自信がつきます」

### 仕事することの喜び

「“あなたの仕事は丁寧で、あなたにやってもらえると本当に違う”と言われて、人の役に立っていることが実感できました」

### 挑戦してみたいこと

「文章入力、パソコン、梱包作業などの仕事が今はしてみたいです。何か能力を身につけないと仕事がないから」  
「将来的には、作業所を離れて、サポートを受けながらも一般の企業で働きたい。そのために、心の強さをもてるようになりたい」  
「自分は清掃が得意なので、清掃関係の仕事に就きたいと思います」

**\*ワークシェアリングへの参加を募集しています。**  
仕事の一部を分け合い分かち合うことが、就労を希望する当事者の生活の選択肢を増やすことにつながります。  
本プロジェクトの活動にご理解とご協力をお願いします。あなたの仕事の一部を分けてください。お問い合わせなどありましたら、**以下へお気軽にご連絡下さい。**

## ワークシェアリング就労支援プロジェクト

(作業療法学科内) E-mail: [worksharing@kiui.ac.jp](mailto:worksharing@kiui.ac.jp)

### 吉備国際大学地域連携センター

高梁キャンパス

岡山県高梁市伊賀町8 TEL:0866-22-9050 FAX:0866-22-9407

選択肢と支援があれば 私たちも働けます!



たとえば  
長さ・・・1時間から  
仕事内容・・・特定の仕事  
課題の工夫・・・一部の場所、手伝う仕事  
頻度・・・1ヶ月に一日から  
ペース・・・自分のペースで  
共に働く人・・・一緒に  
理解する機会・・・説明され相談しながら  
学ぶ機会・・・教わりながら  
習得する機会・・・練習しながら  
課題の調整・・・やることを検討しながら



あなたの仕事の一部を分けていただくことが、  
就労支援のプロジェクトに参加することにつながります



# これが“ワークシェアリング”です

社会における仕事の分かち合いを進めるために、柔軟な選択肢からご本人が自分に合う働き方を選ぶ方法を取り入れています。

現在、吉備国際大学の作業療法学科、保健福祉研究所、実習センター、入試広報室などからの仕事に取り組んでいます。これまで当事者へ依頼した仕事内容は、事務作業、受付業務、清掃作業、研究データ処理です。

## 仕事内容

### 事務

- ・講義資料などのコピー、印刷
- ・資料作成(ホッチキス止め)
- ・書類の裁断(シュレッダー)
- ・パソコン業務(入力, 資料作成)
- ・切手貼り, 宛名書き
- ・書類封筒詰め
- ・物品の整理, 運搬, 移動



### 受付業務

- ・来客への対応
- ・電話の対応

### 清掃

- ・研究室の掃除機かけ,
- ・モップかけ
- ・窓ふき
- ・草取り

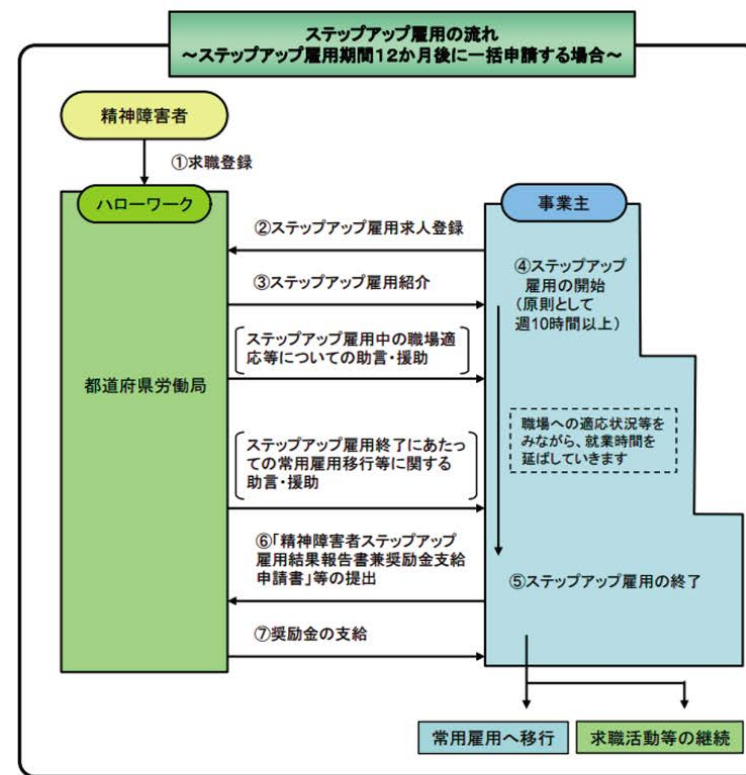


このプロジェクトは地域の課題解決に積極的に取り組みます

このプロジェクトでは、働く選択肢を地域に提供するだけでなく、その働く機会を活用しながら、ニーズを叶えていくための、支援のネットワークを構築していきたいと考えています。

## 障害者の働く現状と課題

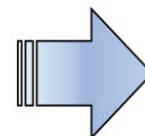
- ・一般雇用でない障害者は地域の福祉作業所等を利用しています。
- ・勤労し自立し最低限の生活を営むことが困難な状態にあります。
- ・障害者の就労に対する制度には、精神障害者を対象とした「ステップアップ雇用(右図)」があります。
- ・個人のおかれた状態に合わせて、働き方を調整することは想定されていません。



厚生労働省  
www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/pdf/43.pdf

プロジェクトでは就労支援について、発想の転換を提案しています

- 働くことは再発につながる
- 一部の人のみ支援
- 一般とは別の場所
- 準備が先
- 能力に合う仕事
- 他者が評価



- 働くことは健康を支える
- すべての希望者を支援
- 一般と分けず同じ場所
- 働きながら
- 自分に合う働き方
- 自分で決める